

## 学校教育努力点について

テーマ 育てよう生き生きと学ぶ松原っ子  
— よく知ること よく考えること よく表現することを通して —

「生き生きと学ぶ子ども」を育成するために、「よく知る」「よく考える」「よく表現する」といった三つの学習活動が大切だと考えています。今年度も、昨年度に引き続き、「よく考える」に焦点を当てて、次のことができるように手だてを考え、授業づくりをしました。

**「自分の考えをもつことができるように」 「対話をして、考えが深められるように」**

昨年度、考えを深めるまでには至りませんでしたので、さらに、思考を促す必要があります。  
そのために、**板書を工夫して、考えを深められるようにしました。**

### ○ 自分の考えをもつことができるように

今年度も、容易な学習活動、既習事項の確認、実際の活動の視聴、タブレットの活用などの手だてにより、考えやすくなり自分の考えをもつことにつながりました。

### ○ 対話をして、考えが深められるように

板書においては、次のような工夫をしました。

- 評価するための基準を示す。
- 考えを図に示す。
- 観点ごとに分けて考えを板書する。
- 座標軸を使って考えの内容を分かりやすくする思考ツールを板書する。
- これまでに学んできたことを掲示する。



【座標軸を使って話し合う様子】

こういった工夫により、様々な子どもの考えを共有できたり、考えを比較しやすくなったりして、思考を促すことができました。そして、活発に対話をしたり、板書を見て自分の考えを見直したりする子どもの姿が見られるようになりました。このような姿から、一定の成果を上げることができました。

来年度、これまで取り組んできた「自分の考えをもつ」「対話をして、考えを深める」ための手だてを生かしつつ、授業でのタブレットの活用を考えていきたいと思います。